

NEWS RELEASE

2022年12月20日

各位



〒656-0101 兵庫県洲本市納 85 番地 1

代表取締役社長 橋本琢万

高齢者を守る「移動スーパー」の取り組み（年末特別火災警戒）

当社は、淡路広域消防事務組合（消防本部 予防課）と連携のもと、訪問先の高齢者（洲本市の合計約400名）へ、住宅用火災報知器の設置の呼びかけ（パンフレット配布）を通じ、防火啓発を12月21日（水）より行います。

〔日程〕 2022年12月21日（水）～12月23日（金）

〔内容〕 年末特別火災警戒（淡路広域消防事務組合、消防本部予防課と連携のもと）

〔対象〕 移動スーパー「とくし丸」訪問先の高齢者（洲本市、合計約400名）

空気が乾燥し、火を使う機会が多いこれからの季節は火の元に注意が必要です。2021年に起きた住宅火災のうち、約74%が65歳以上の高齢者で、亡くなった理由は『逃げ遅れ』が全体の約半数を占めています。（政府広報オンラインHP『住宅火災からいのちを守る10のポイント。「逃げ遅れ」を防ぐために。』より）

『逃げ遅れ』を防ぐためには、住宅用火災報知器が有効ですが、淡路島は兵庫県内の設置率がワースト1と、設置促進が優先課題となっています。

独居高齢者には、消防からの情報が届きにくく現状を知り、高齢者と対面で接している移動販売の特性をいかし、消防からの情報を届け、啓発する取り組みを行うこととなりました。

今回は、家が密集している洲本市（由良地区など古い家が密集）で、設置を呼びかけ防火啓発を行います。年末特有の慌ただしさ、空気の乾燥や季節風等の気象条件が重なるこの時期に、火災の恐さをしっかり伝え、防火の啓発を行ってまいります。

移動スーパーが訪問する独居高齢者は、周囲との交流（相談する相手）が少なく、行政の情報が届き難い実情があります。今後も、行政機関（市・警察・消防 他）と連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活を営めるよう、啓発活動を続けて参ります。

以上